

平成29年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等 ふりがな	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（％）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 h a	事業内容						
1	湛水防除事業	かつら 勝占	徳島市	1,398	93.7	排水路工 550m	H10	20	⑥	93.2	本地域において、下流部周辺では宅地化の進行は認められるものの、上流部では、農地面積、営農状況等について大きな変化はなく、継続的に営農が行われている。また、関連事業により整備された排水機場により排水状況の改善が部分的に見受けられるが、未整備箇所については、流下能力が阻害されている状況である。そこで、本事業により排水施設を改修することにより、湛水被害が低減され、安定した農業経営が可能となる。平成30年度に事業完了予定である。	継続
2												
3												
4												
5												
6												
7												

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

平成29年度再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	経過年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
					全体事業費 C(百万円)等				事業費	用地		
1	道路改築事業	徳島県	一般国道438号 上分バイパス	神山町	L=1,600m W=6.0(8.0)m C=3,300百万円	H15	15	⑥	79%	88%	当路線は、徳島県徳島市から神山町上分地区を経由し、香川県坂出市に至る幹線道路で第3次緊急輸送道路に指定されている。当該区間は人家連たん地であるが、幅員狭小で線形不良区間も連続し、交通の隘路となっていることから、当該事業により安全で円滑な交通を確保する。	継続
2	緊急地方道路整備事業	徳島県	主要地方道鳴門池田線 共進新町工区	阿波市～美馬市	L=5,100m W=6.5(17.0)m C=8,500百万円	H10	20	⑥	83%	99%	当路線は、鳴門市から美馬市共進地区及び新町地区を経由し、三好市に至る吉野川北岸の東西を結ぶ幹線道路で、第2次緊急輸送道路に指定されている。当事業は、鳴門池田線の唯一の未改良区間の整備であり、通勤通学の安全安心の確保や産業・観光振興に寄与するものである。平成34年度の完成供用を目指している。	継続
3	緊急地方道路整備事業	徳島県	主要地方道阿南相生線 新野工区	阿南市	L=1,200m W=6.0(11.0)m C=2,660百万円	H10	20	⑥	95%	99%	当路線は、阿南市橘町から新野地区を経由し、那賀町に至る延長約26.0kmの路線である。当区間周辺には新野高等学校等が存在し、地域住民の通勤通学に利用されているが、幅員狭小で諸車輛の通行に支障を来しており、また、歩車道が整備できていないことから、当事業により通勤通学時の安全確保や道路交通の円滑化を図る。平成30年度の完成供用を目指している。	継続
4	地すべり対策事業	徳島県	釣井	三好市	横ボーリング工 水路工 C=627百万円	H15	15	⑥	98%	100%	当箇所は徳島県三好市東祖谷に位置し、市道擁壁の亀裂や石積みの押し出し等の地すべり兆候がみられたことから、人家、市道等を保全するため、平成15年度より事業着手し、平成30年度の完成を目指している。	継続
5	通常砂防事業	徳島県	赤ハデ谷	東みよし町	H=14.0m, L=54.6m 砂防堰堤 N=1基 C=250百万円	H25	5	②	57%	100%	当箇所は徳島県東みよし町山根に位置し、人家、町道等を保全するため砂防堰堤による整備を平成25年度より事業着手し、平成31年度の完成を目指している。	継続
6	通常砂防事業	徳島県	小屋谷	美馬市	H=13.0m, L=29.4m 砂防堰堤 N=1基 C=170百万円	H27	3	①	17%	0%	当箇所は徳島県美馬市穴吹町池ノ奥に位置し、人家、中学校等を保全するため砂防堰堤による整備を平成27年度より事業着手した。	継続
7	床上浸水対策特別緊急事業	徳島県	一級河川 那賀川	那賀町	河川改修延長L=2.0km 堤防整備、橋梁架替 国道嵩上げ C=9,700百万円	H27	3	⑤	53%	77%	当河川では、平成26年8月台風11号により那賀町（和食・土佐地区）において床上・床下浸水併せ279戸もの甚大な浸水被害が発生したことから、平成27年度より床上浸水対策特別緊急事業に新規着手し、堤防整備など「再度災害防止対策」に重点的に取り組んでいるところ。当該事業により、地域住民の生命と財産を守り、地域振興にも大きく寄与するものである。平成32年度の完成を目指している。	継続

※【区分欄】

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5（3）年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所（補助事業、砂防事業）
- ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所（交付金事業等）
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所

※①、⑥の（）は砂防事業の場合

※②について、砂防事業はH28から事業評価サイクルの見直し（10年継続中→5年継続中）を行ったため、経過年数が6～9年目を含む

- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5（3）年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象

平成29年度事後評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等
					全体事業費 C(百万円)等				事業費	用地	
1	急傾斜地崩壊 対策事業	徳島県	しんまち 新町	海陽町	擁壁工 L=149m 法面工 A=900m ² C= 184百万円	H24	—	⑦	—	—	当該箇所は、徳島県海部郡海陽町奥浦に位置し、保全対象に人家11戸、明現神社（地域防災計画に記載された避難場所）を含む急傾斜地崩壊危険区域である。平成24年度の台風により小崩壊した箇所が見られることから、早急に対策を講じ民生の安定を図る必要があるため、平成24年度に事業着手し平成29年3月に完成した。
2	地すべり対策 事業	徳島県	なかの 中野	つるぎ町	横ボーリング工 L=3,570m C= 145百万円	H21	—	⑦	—	—	当該箇所は、徳島県美馬郡つるぎ町一字に位置し、人家28戸、国道、町道等を保全対象とする区域である。町道擁壁のクラックや民家敷地のひび割れなど地すべり兆候が見受けられることから、平成21年度に事業着手し、平成29年3月に完成した。
3	地すべり対策 事業	徳島県	ごみょう 五名（2）	東みよし 町	横ボーリング工 集水井 C=188百万円	H23	—	⑦	—	—	当該箇所は、吉野川水系加茂谷川の右岸側の西側斜面に位置し、人家12戸、主要地方道550m、町道690mを保全対象とする区域である。町道擁壁や路面に変状や押し出し等の地すべりの兆候が見受けられることから、平成23年に事業着手し、平成29年3月に完成した。